ロジザード株式会社

2027年6月期第1四半期 決算説明資料

2026年11月13日

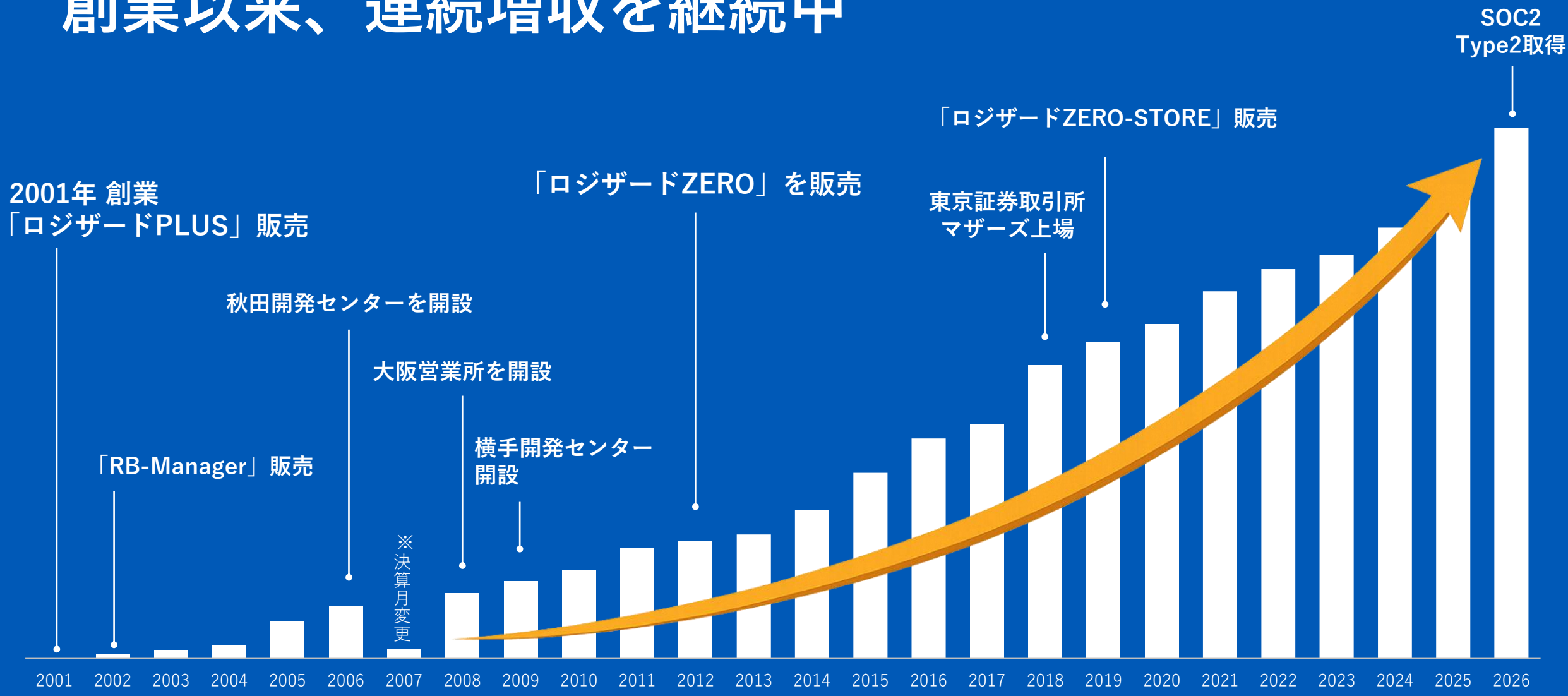


ロジザード株式会社（東証グロース：4391）

会社名	ロジザード株式会社
所在地	東京都中央区日本橋人形町三丁目3番6号
代表者	代表取締役社長 金澤 茂則
設立	2001年7月16日
上場	2018年7月4日　（東証グロース：4391）
事業内容	• クラウドサービス事業 • 情報システムの開発及び販売 • 物流業務・小売業務コンサルティング
資本金	304百万円（2026年6月30日現在）
従業員	154名（2026年9月30日現在）
URL	https://www.logizard.co.jp/
グループ会社	ストラソルアーキテクト株式会社

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

創業以来、連続増収を継続中



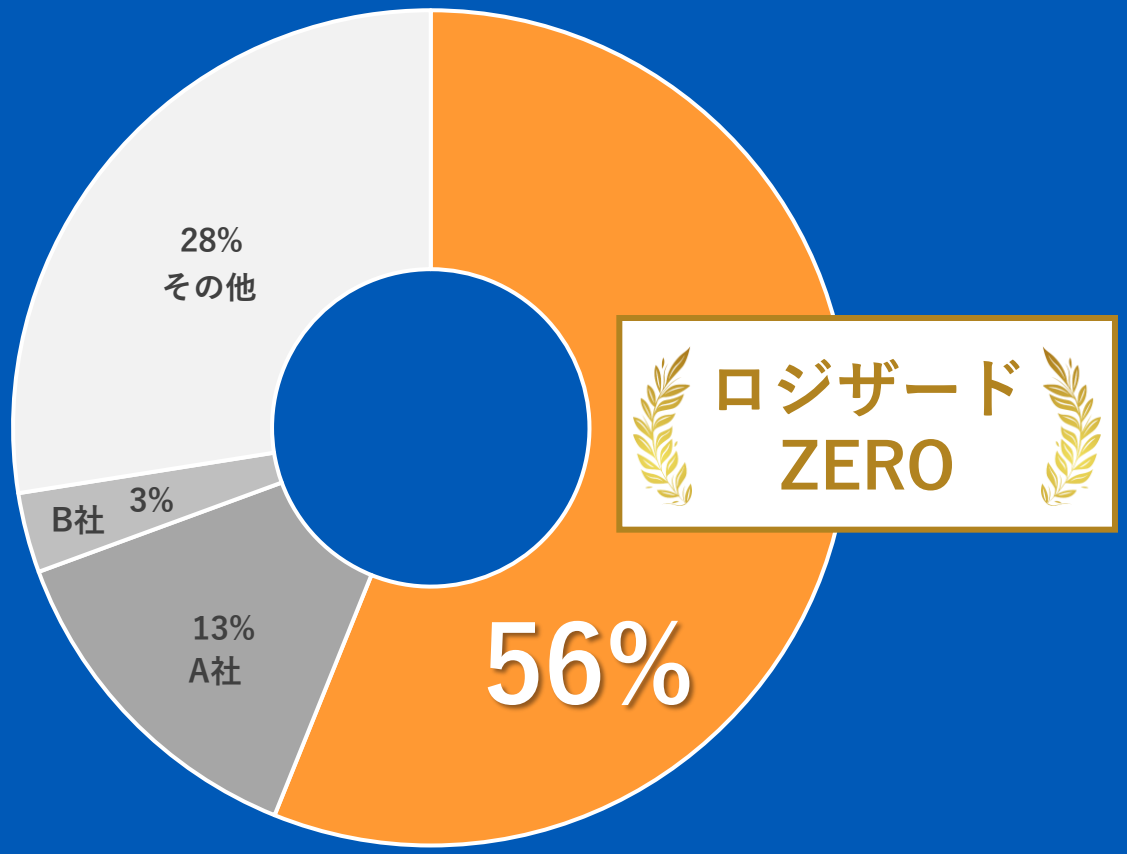
ロジザード株式会社

証券コード：4391

※グラフは各年度の売上高、2015年度までは単体、2016~2022年度は連結、2023年度以降は単体

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

業界シェアNo.１を誇る クラウド型倉庫管理システム（WMS）「ロジザード ZERO」



クラウド型WMS稼働数
No.1

WMS関心度ランキング
No.1

ITトレンド
年間ランキング
No.1

国内最大の物流ニュースサイト「LOGISTIC TODAY」：クラウド型WMSの導入に関する実態調査（2023年）、WMS関心度ランキング（2024年）
法人向けIT製品比較サイト「ITトレンド」：ITトレンド年間ランキング2024倉庫管理システム（WMS）

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

現在、2,000超の現場で当社WMSが稼働中


株式会社サードウェーブ


株式会社ムービング



株式会社ベッドアンドマットレス


コーナン商事株式会社


株式会社アストロ



株式会社SODA


株式会社カネコ


株式会社三栄コーポレーション


株式会社Grand Prix


イオンリテール株式会社



SBSロジコム株式会社


株式会社エクシーズジャパン



株式会社ウッディーハウス


株式会社三鷹倉庫


水岩運送株式会社


ジーエフ株式会社


株式会社ＭＸロジスティクス


株式会社エーｎｅ


株式会社ひなた


株式会社エクシード


コアブレイン株式会社


株式会社物研


アルコロジスティックス株式会社


CSロジネット株式会社



株式会社パスクリエ


司企業株式会社



株式会社西京物流サービス


gf.P株式会社


株式会社S-PAL


株式会社アムロ


株式会社2020


扇町運送株式会社


株式会社大黒（Support BB!）


株式会社ユナイテッドイースト


株式会社M・Kロジ


株式会社池田商店


株式会社クボタ産業


株式会社ブレーン



三省製薬株式会社


三菱倉庫株式会社

株式会社清長

株式会社キムラタン

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.
導入事例紹介ページ：https://www.logizard-zero.com/cases/

共創型物流データプラットフォーム

Bit Waybill®

共通デジタル荷札
ビットウェイビル

荷主と輸送がもっと歩み寄って
貨物がつながる
ドライバーがつながる
運送会社がつながる

物流を変える、全員で変わる。







ロジザード株式会社

証券コード：4391

共通デジタル荷札「Bit Waybill」サービスサイト：https://www.bitwaybill.jp/

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

物流コンサルティング

グループ会社　株式会社ストラソルアーキテクト

STRASOL Architects



Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

株式会社ストラソルアーキテクト　コーポレートサイト：https://strasol-a.com/

目次

01. 27年6月期 第1四半期 サマリー
02. 業績分析
03. 事業活動の振り返り
04. 成長戦略における進捗
05. APPENDIX

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

01. 27年6月期 第1四半期 サマリー

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

27年6月期 第1四半期におけるトピック3選

01 「ロジザードZERO」における中・大規模の案件の増加
BtoB領域の稼働が拡大、MRRは最高額を更新中

02 総合物流DXベンダーに向け
・株式会社ストラソルアーキテクトの子会社化
・OrbiFlow株式会社との資本業務提携を実施

03 共通デジタル荷札「Bit Waybill」の開発および、
サービスローンチに向けた先行マーケティングを実施

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

27年6月期 第1四半期 業績サマリー

売上高

657百万円

（前年同期比 +17.1%）

予算進捗率 23.4%

営業利益

81百万円

（前年同期比 +13.6%）

予算進捗率 20.2%

親会社株主に帰属する当期純利益

59百万円

（前年同期比 +13.9%）

予算進捗率 20.5%

MRR

172百万円

（前年同期比 +13.8%）

予算進捗率 23.8%

※被取得企業のみなし取得日を2026年９月30日としているため、貸借対照表のみを連結しており、当第１四半期連結損益計算書については被取得企業の業績を含んでおりません。

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

MRR…Monthly Recurring Revenueの略で毎月継続的に得られる収入のこと

損益の状況（サマリー）

（単位：百万円）

	Y on Y				通期累計（7-9月）		
	26年6月期	27年6月期	前年同期比※		27年6月期 実績	期初予算	予算進捗率
			増減額	増減率			
売上高	561	657	95	17.1%	657	2,808	23.4%
売上総利益	309	359	50	16.3%	359	1,516	23.7%
販管費および一般管理費	237	278	40	17.1%	278	1,111	25.0%
営業利益	71	81	9	13.6%	81	404	20.2%
経常利益	73	83	10	14.0%	83	405	20.6%
純利益※	51	59	7	13.9%	59	288	20.5%

※2027年６月期第１四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2026年６月期との比較は参考値となります。また、「純利益」は2026年6月Q1：「四半期純利益」、2027年6月期Q1：「親会社株主に帰属する四半期純利益」となります。

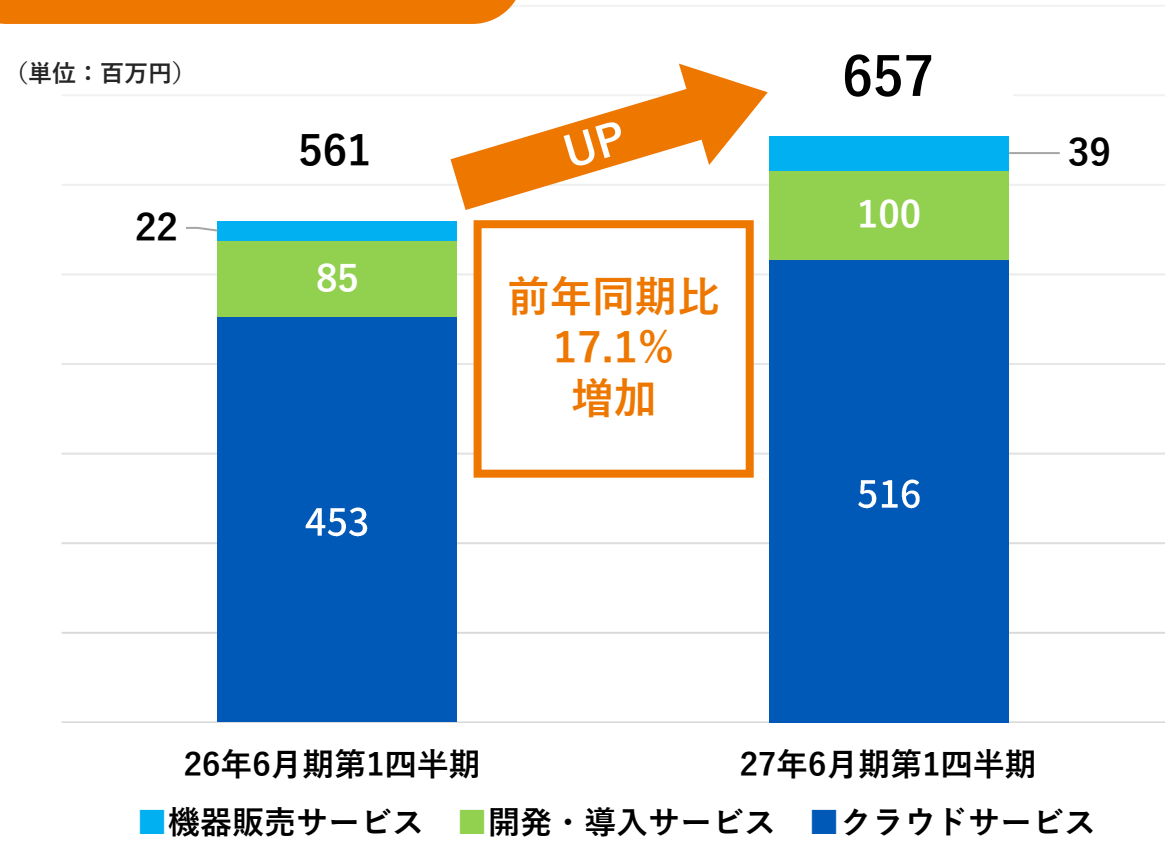
Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

02. 業績分析

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

売上高は前年同期比17.1%増加、順調に推移

売上高増減の明細



売上高は前年同期比17.1%増で順調に推移。

クラウドサービスは前年同期比では13.9%増の着地となり、前四半期から引き続きBtoB領域での受注拡大による顧客単価の向上が寄与。

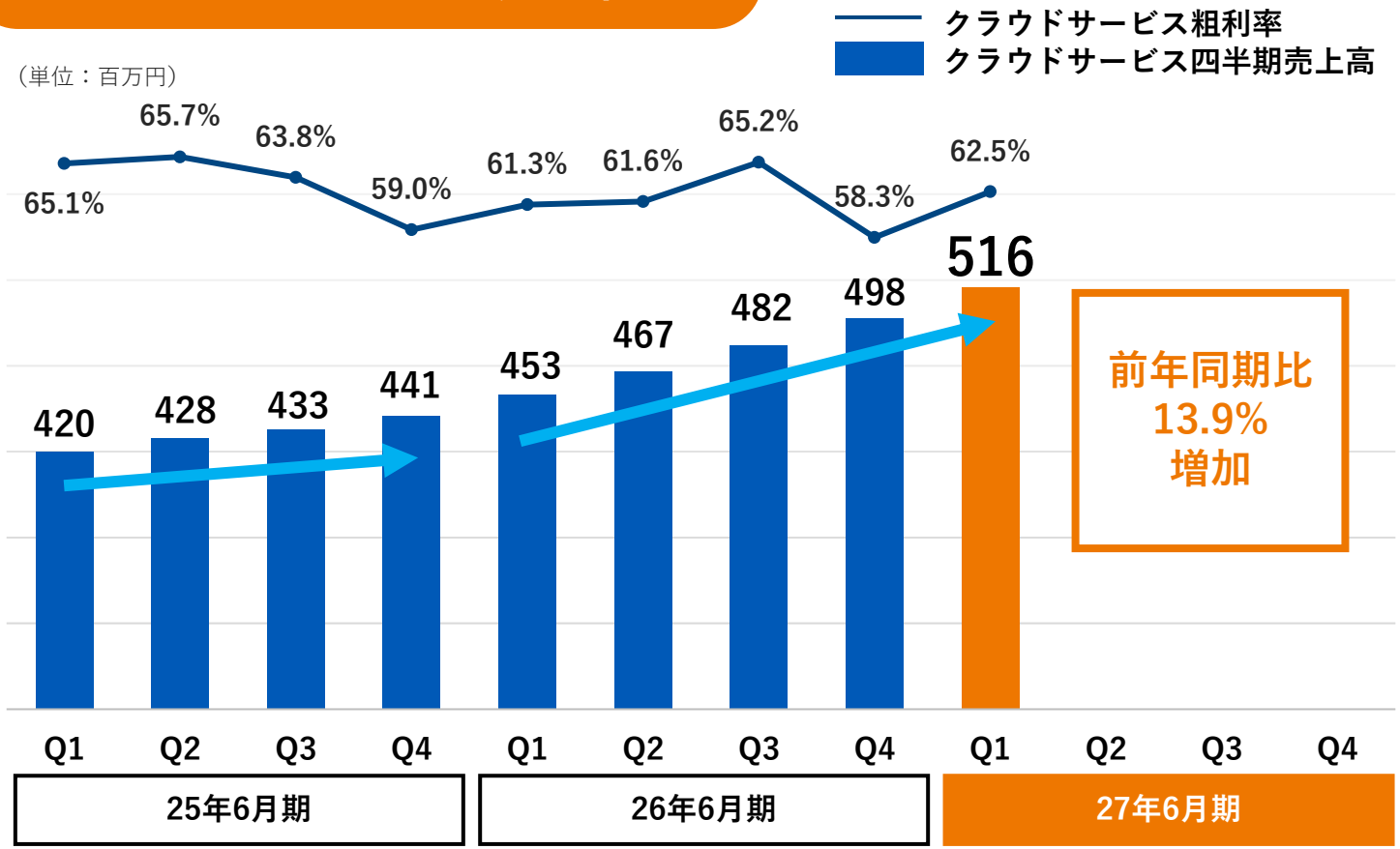
開発・導入サービスについては、前年同期比では17.2%増となり、BtoB領域での受注や要件定義の増加に伴い、中大規模案件での受注が軌道に乗っている。

機器販売サービスは前年同期比で81.2%増。
通期予算に対する進捗率も55.4%と堅調。

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

クラウドサービス売上高は前年同期比13.9%増加

クラウドサービス売上高



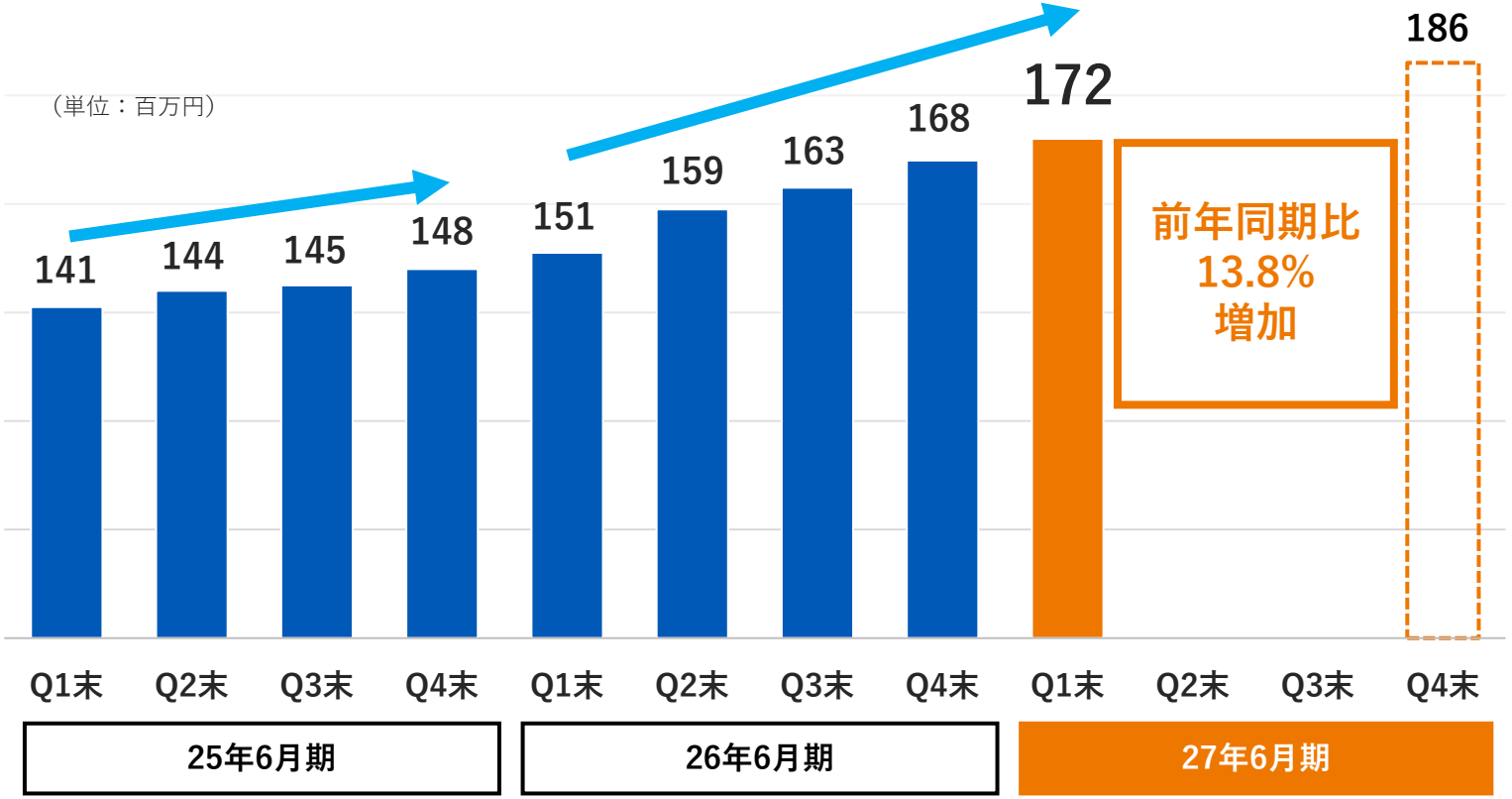
クラウドサービス売上高は成長が加速

売上高の成長要因は、着実な営業活動、BtoB領域での受注拡大に伴う新規アカウントの増加、顧客単価の上昇が寄与。

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

MRRは前年同期比13.8%増加、4四半期連続で過去最高の伸び率を更新

MRR*の推移



MRRは1.72億円で着地
前期から継続して
過去最高の伸び率を継続

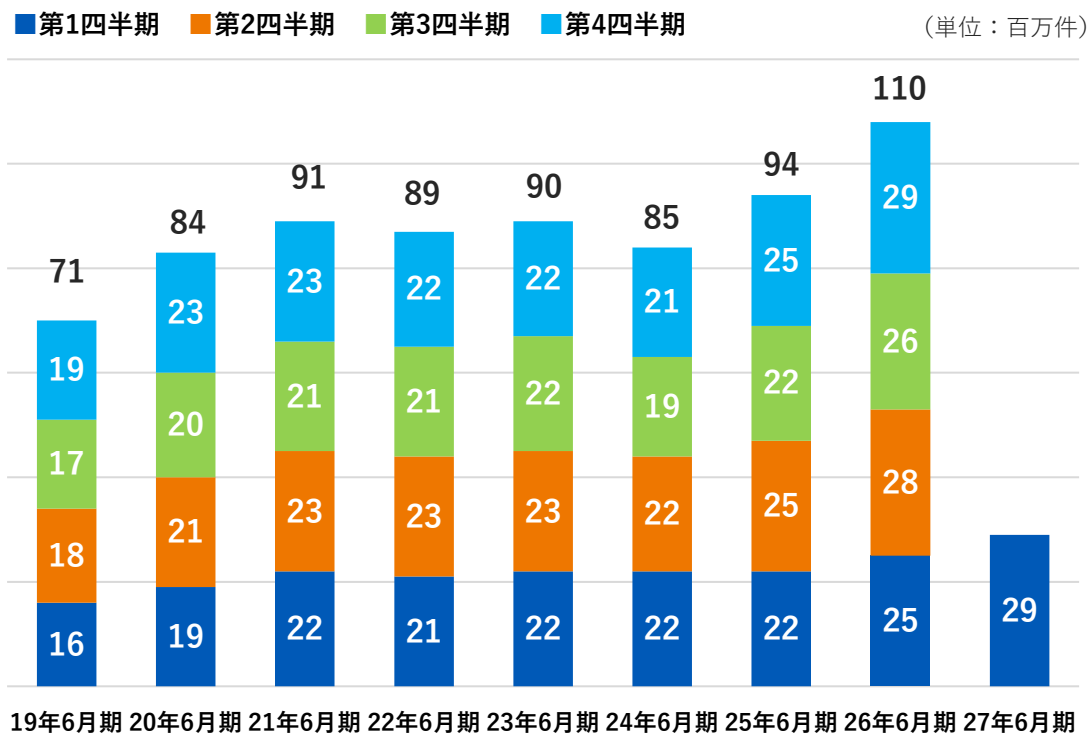
サブスクリプションモデルによる安定的な収益の土台に加え、引き続きBtoB案件の増加を背景とした顧客単価の向上、高付加価値オプションの採用が進み、MRRの成長を牽引。

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

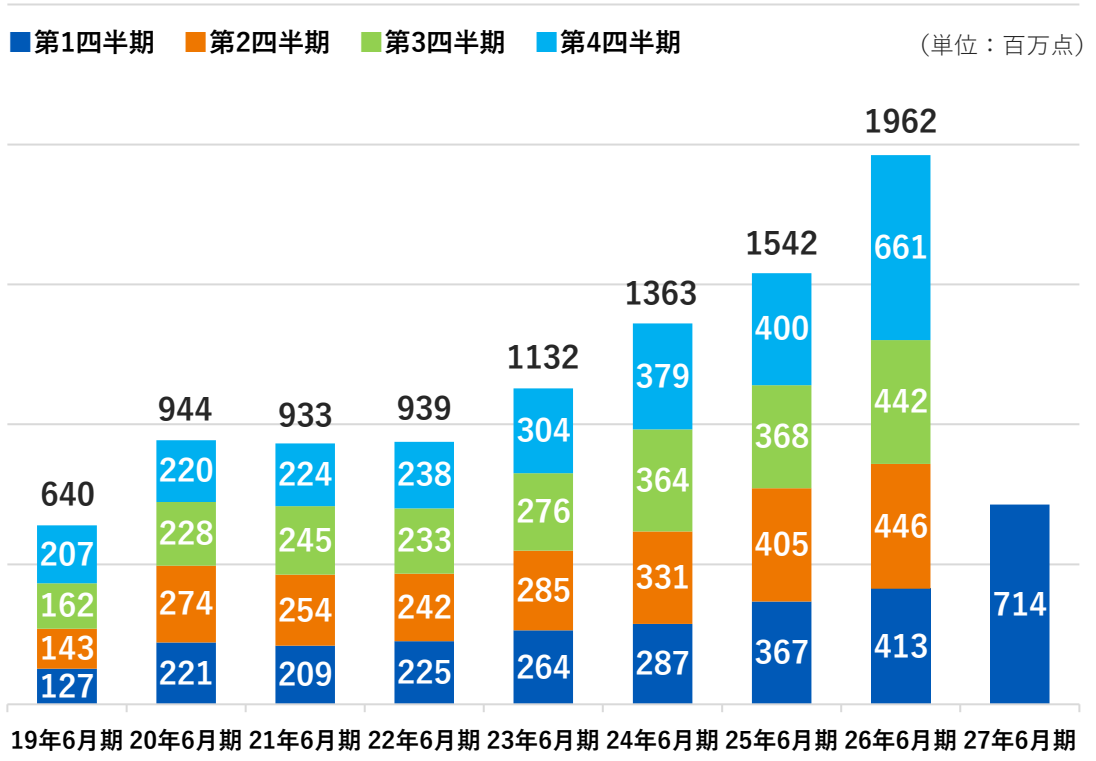
※MRR…Monthly Recurring Revenueの略で毎月継続的に得られる収入のこと

参考：当社システムからの出荷件数と出荷点数の推移

出荷件数



出荷点数

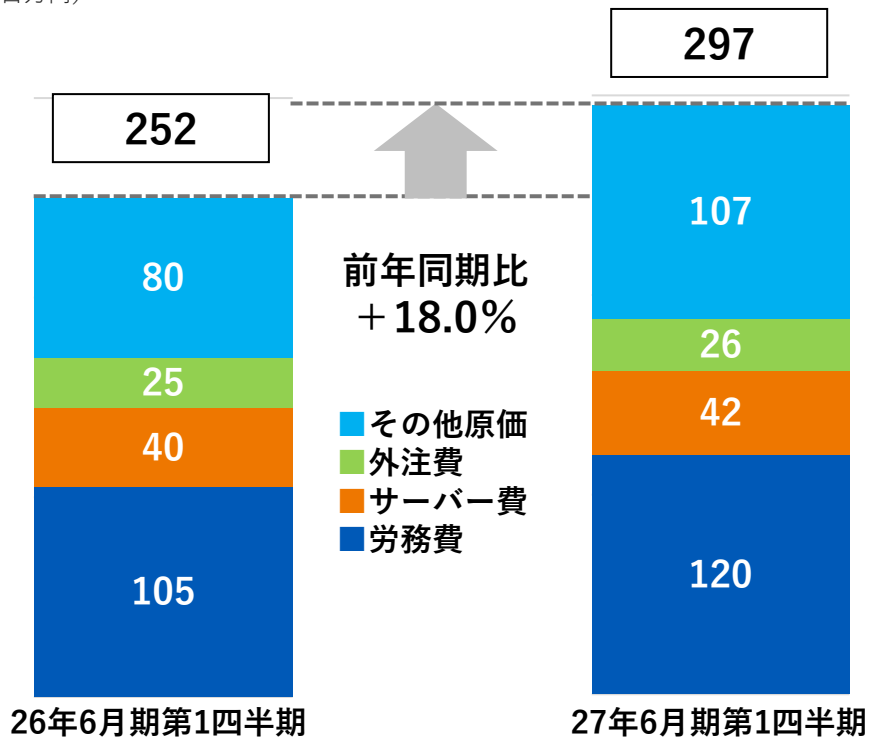


Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

主な売上原価はセキュリティ及び製品開発投資等強化により前年同期比18.0%増

売上原価および開発投資等の状況

（単位：百万円）



売上原価は前年同期比で18.0%の増加

労務費は人材増強により前年同期比14.0%増加。
外注費も前年同期比5.9%増となった。
サーバー費はアカウントの増加に伴うサーバー容量の追加やセキュリティ強化投資により前年同期比5.7%増加。
その他原価はソフトウェア資産の積み上げに伴う減価償却費の増加等により、前年同期比33.2%増加。

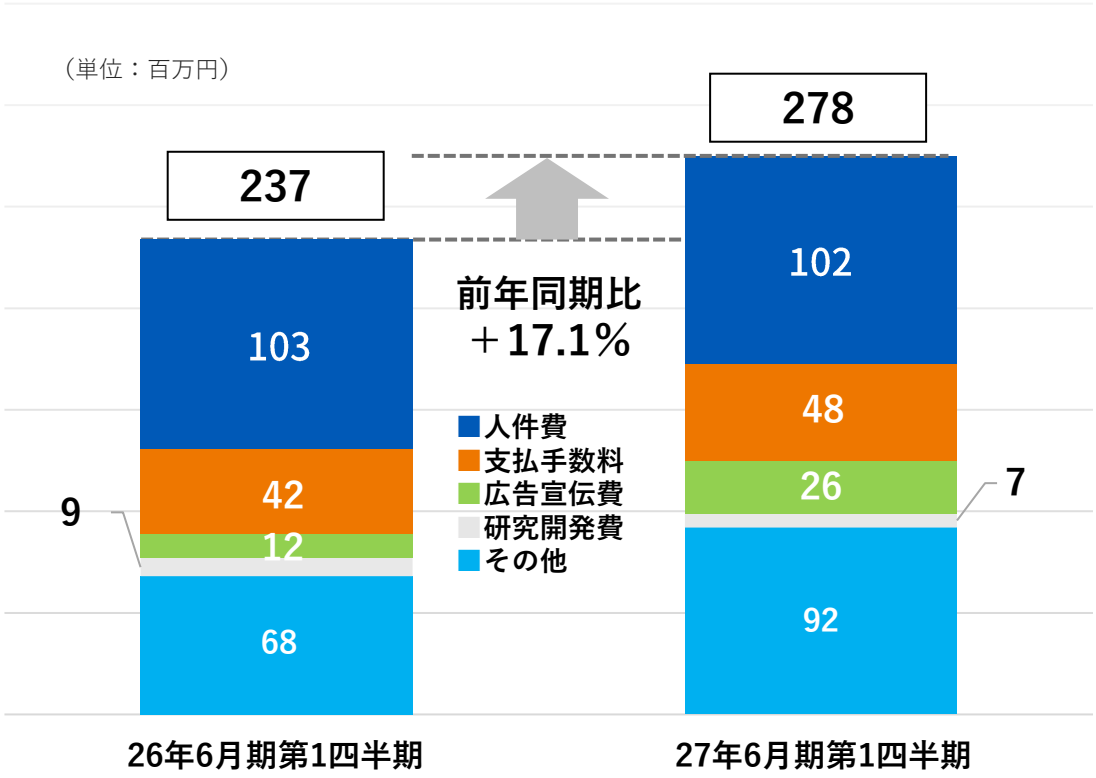
開発投資等の内訳

項目	26年1Q	27年1Q	増減額
製品開発（B/S）	55	130	＋75
研究開発（販管費）	9	7	-2
その他（販管費）	27	52	＋25

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

販売管理費は販促強化による広告宣伝費の増加に伴い17.1%増

主な販売管理費増減の状況



販売管理費は前年同期比で17.1%の増加

人件費は産休・育休取得者の増加に伴い、
前年同期比0.8%減少

支払手数料はM&A関連費用の増加により
前年同期比13.5%増

広告宣伝費は既存サービスに加え、Bit Waybillにかかる
販促活動が増えたことにより、前年同期比110.7%増加

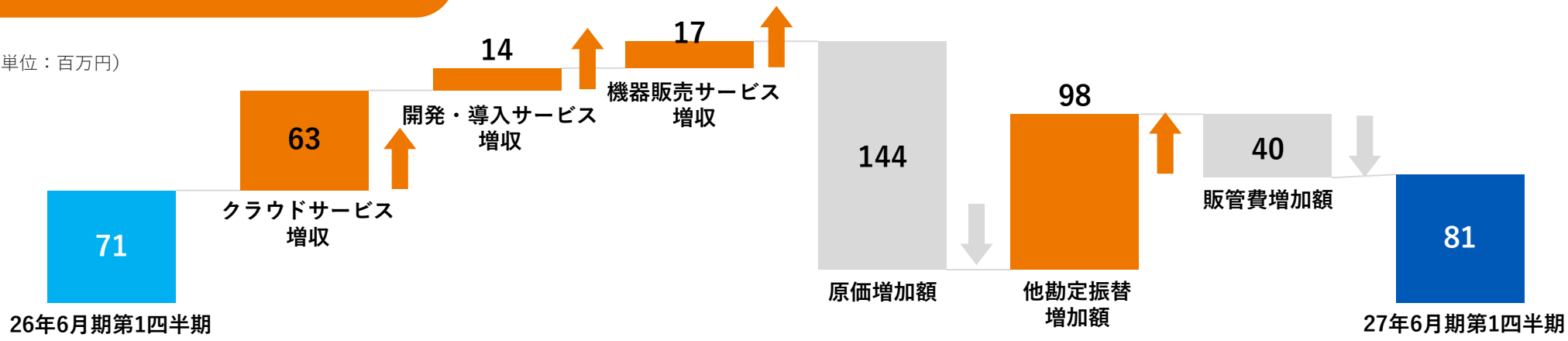
研究開発費は新サービスの研究開発フェーズから
製品開発フェーズへの移行に伴い、前年同期比26.1%減少

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

営業利益はクラウドサービス売上の堅調な推移により13.6%増

営業利益 前期比増減要因

（単位：百万円）



売上高増加要因の内訳	
項目	増減額
売上高増減額	＋95
（内訳）	
クラウドサービス	＋63
開発・導入サービス	＋14
機器販売サービス	＋17

費用増加要因の内訳					
項目	増減額	項目	増減額	項目	増減額
原価増加額	▲144	他勘定振替	＋98	販管費増加額	▲40
（内訳）		（内訳）		（内訳）	
労務費	▲39	製品開発	＋75	人件費	▲0
外注費	▲68	研究開発	▲2	支払手数料	▲5
サーバー費	▲2	その他	＋25	広告宣伝費	▲14
その他	▲33			研究開発費	＋2
				その他	▲24

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

03. 事業活動の振り返り

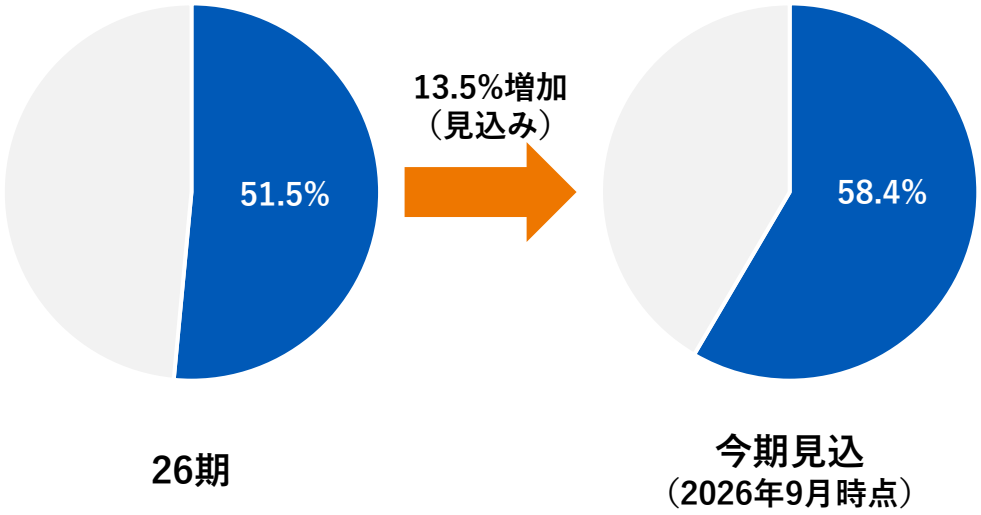
Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

要件定義を伴う中大規模案件の増加とBtoB領域での拡大。営業戦略に成果。

要件定義を伴う中規模以上の案件が増加

第1四半期時点で前期年間実績と同水準の案件数を確保。
そのため、通期では前期超えの獲得に期待。

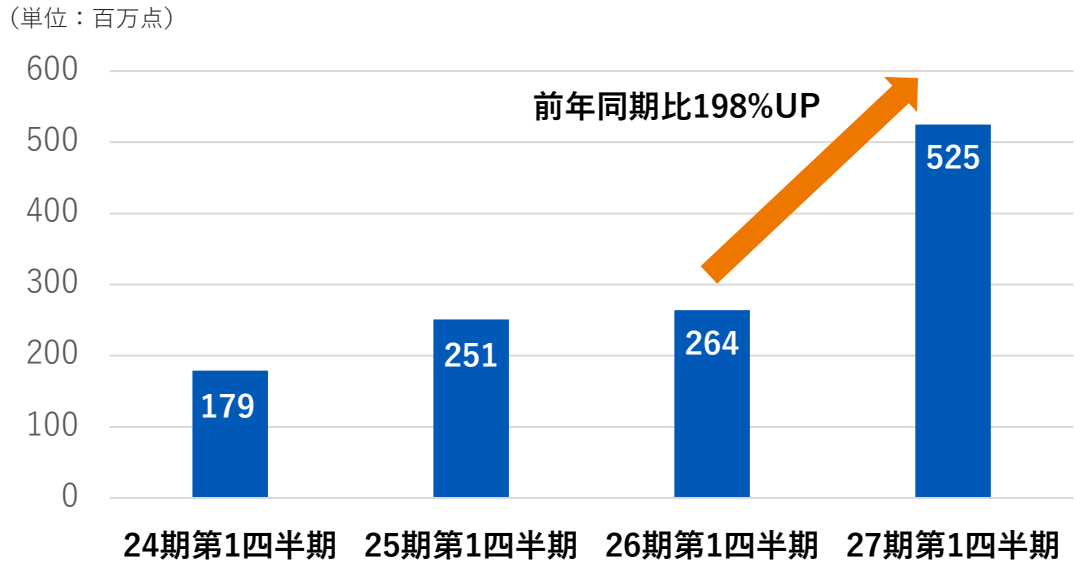
中規模以上の案件割合の変化



BtoB領域での稼働が順調に拡大

中期経営計画で掲げていたBtoB領域の進捗は、
稼働拡大により、出荷点数が前年同期比198%に増加

BtoB出荷点数推移



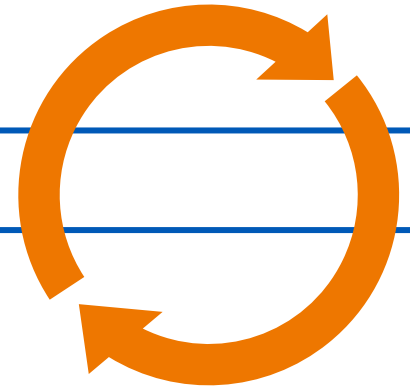
Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

販売代理店、パートナー企業との連携による成果が顕在化

前期から推進している販売代理店による営業連携の成果が顕在化
マーケティング連携の強化でさらなる市場開拓を加速

連携強化による案件創出

- 重点パートナーからの引き合いを継続的に獲得しており、安定した案件創出につながっている
- パートナー各社から、当社単独ではアプローチが難しい地方の有力企業を中心に紹介を受けている
- 当社サービスやWMSに関する勉強会・情報提供施策を推進
- 契約締結および立ち上げまで進行している案件もあり、取り組みの成果が顕在化



マーケティング戦略でも協業を推進

- 株式会社オービックビジネスコンサルタントとセミナー開催
- ピー・シー・エー株式会社主催『PCAフェス2026』に出展
- リコージャパン岐阜支社主催『RICOH Value Presentation 2026 in GIFU』に出展

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

直近事例から見る、クラウドWMS「ロジザードZERO」導入効果

誤配送が導入でほぼゼロ、作業工数が75%削減など、多様な現場で高い改善効果を創出

総合商社

- 月に30～50件あった誤配送が、導入当月から誤配送がほぼゼロに。
- 出荷能力が向上。月1万件の出荷増にも同人数で対応可能に。

誤配ほぼゼロに

メーカー

- 20%超える在庫差異が、0.005%へ。在庫精度が劇的に向上。
- 通販在庫と営業在庫の分離管理を実現

在庫精度向上

倉庫

- アナログ管理から徹底した伴走支援でDXを推進
- 在庫精度の向上と事務処理の大幅な時短を実現

DX化を伴走支援

総合ソリューション

- 「在庫差異ほぼゼロ」を達成
- 運用の標準化で作業時間を30%削減

作業時間30%減

食品製造・卸売業

- 入荷業務にかかる作業工数75%削減
- バーコードとハンディターミナルによるデジタル管理で、業務標準化と効率化を実現

作業工数75%減

ロジザード株式会社　証券コード：4391

導入事例紹介ページ：https://www.logizard-zero.com/cases/

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

04. 成長戦略における進捗

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

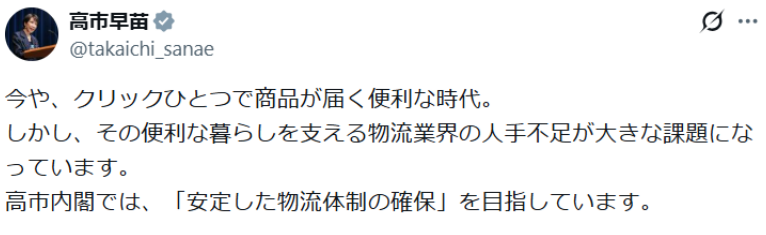
市場環境：制度整備から実装へ ― 社会インフラとして物流改革が本格化

物流を「経済と国民生活を支える不可欠な社会インフラ」と位置付け
政府主導による持続可能な物流の実現に向けた動きが加速

物流に関する直近の政府の動き

- 適正原価制度の検討開始
- トラック適正化二法の運用本格化
- 物流Gメン・取引適正化強化
- データ連携・共同輸配送支援
- ラストワンマイル効率化
- 物流施策大綱の具体化

9/20（日）には高市首相がXにて物流問題に関する方針を発信。中継輸送の推進を明言。



従来の構造

現場の努力への依存
低運賃・長時間労働・荷待ちや荷役、個社最適

現在の改革

ルール整備と構造改革
適正原価・取引規制、荷主の責任、データ連携、DX推進

目指す姿

持続可能で強靭な物流
適正な賃金、生産性向上、安定した輸送体制、物流の維持

出典・参照：国土交通省「適正原価の設定に向けた有識者検討会」、「トラック適正化二法について」、「総合物流施策大綱（2026年度～2030年度）」、報道発表

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

※2026年8月12日発表「事業計画及び成長可能性に関する資料」より一部再掲

実現に向けて

これからのロジザードは
物流SaaSの枠を超え、物流DXを支える存在へ



総合物流DXベンダーへの進化

※2026年8月12日発表「事業計画及び成長可能性に関する資料」より再掲

今ある課題、そしてこれからの未来も支えるため、SaaSベンダーから物流全体を支えられる総合企業へ進化するため、
M&Aや投資による事業の拡大を視野に、物流に関わるあらゆる課題解決を担う企業体への進化を目指す。

これまで	知見を伴ったワンストップでの総合提案力	物流OSを刷新する企業体としての総合力
SaaSシステムの提供	ビジネス機会と顧客課題	物流課題を包括的に解決する事業への拡大



機会
- 旺盛なリプレイス需要
- テクノロジーの進展

顧客課題
- 物流設計人材
- IT人材
- 一般化人材

→ 人手不足

→ 顧客ニーズに応えるワンストップソリューションの提供

総合物流DXベンダー
- コンサルティング
- 倉庫ソリューション
- マテハン機器
- IoT機器
- データプラットフォーム
- 配送ソリューション

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

中期経営計画における事業戦略： M&A・投資による事業領域の拡張

戦略的連携とM&A・投資を通じて共創を推進し、事業領域の拡張と中長期的な企業価値向上を実現。

成長基盤

成長戦略としてのM&A・投資の推進

M&A・投資を中長期的な成長戦略の中核に位置づけ、専任体制を構築し、案件選定から実行、統合プロセスまでを一貫して推進することで、再現性のある成長手段として確立。
また、資本効率を意識した戦略的な投資判断を行い、持続的な成長基盤を強化する。

事業領域の拡張

物流関連企業との連携による事業領域の拡張

物流関連技術メーカーをはじめ、物流関連システム事業者や3PL企業との戦略的連携・提携・M&Aを通じて、新たな事業領域を開拓する。多様な企業との共創により事業ポートフォリオを拡張し、中長期的な企業価値向上につなげていく。

価値創出と貢献

共創による新たな価値創出

M&Aや投資を通じて参画する企業との共創を推進し、既存事業の高度化と新たな成長機会の創出を図る。これにより、競争優位性を高め、業界全体の持続的な成長と発展に貢献していく。

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

27年度6月期第1四半期におけるM&Aおよび投資の状況

27年6月期第1四半期において、物流コンサルティング会社である株式会社ストラソルアーキテクトの子会社化と倉庫運用管理システム（WES）及びマテハン機器の開発・販売を行うOrbiFlow株式会社との資本業務提携を実施。

子会社化：物流実務から物流戦略へ、事業領域を拡大

領域	企業	事業概要	取引の目的および見込めるシナジー	スキーム
物流コンサルティング	株式会社ストラソルアーキテクト	製造業・物流業・流通業を中心とした業務プロセス改革コンサルティングならびに、これに伴う情報システムの企画・構築、研修会の企画・開催	物流戦略領域への提案力を強化。大型・複雑化する物流DX案件の受注拡大と提供価値の強化を通じて、事業成長を加速。	子会社化 株式譲渡実行日： 2026年8月31日

ロジザード株式会社

資本業務提携：マテハン未導入市場へ、新たな価値を提供

領域	企業	事業概要	取引の目的および見込めるシナジー	スキーム
WESおよび マテハン機器	OrbiFlow株式会社	倉庫自動化 Operation OS（WMS / WES / WCS）、AI Agents、認定ハードウェアエコシステムの開発・提供	国内卸・小売を中心とする中堅市場におけるマテハン未導入領域を共同開拓。 ・クラウド倉庫管理システム「ロジザードZERO」におけるWESオプションの提供 ・マテハン機器の共同拡販	資本業務提携 契約締結日： 2026年9月15日

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

共通デジタル荷札「Bit Waybill」事業ローンチにむけた先行プロモーションの実施

物流業界関係者に向けた積極的な認知活動を実施

7月

全国の物流関係者向けキャラバンイベントへの協賛
- 運びと地位向上キャラバン@水戸
- 運びと地位向上キャラバン@仙台

8月

- 日経ビジネス 物流特集記事広告出稿
- Bit Waybillサービスサイト公開

9月

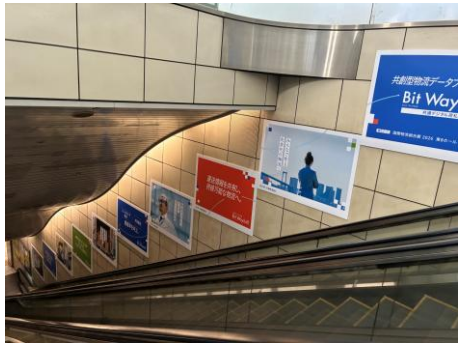
- 国際物流総合展へ出展および講演実施
- 同日程で国際展示場駅、エレベーター広告ジャック
- 物流DX未来会議After Actionにて講演実施

多くの企業・団体の皆さまからお問い合わせをいただき
具体的な活用に向けた検討や取り組みが進行中











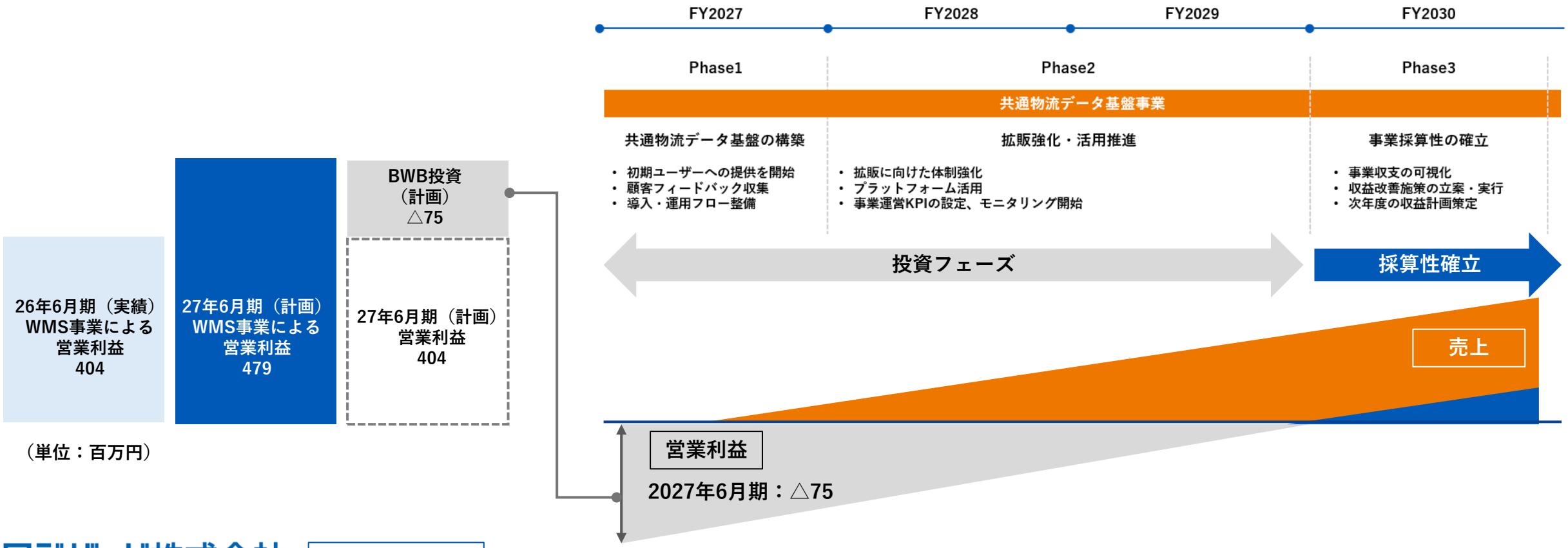


Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

Bit Waybill事業を含む今後の業績について

※2026年8月12日発表「事業計画及び成長可能性に関する資料」より再掲

2027年6月期も、既存事業（WMS事業）の営業利益は2026～2028年度における中期経営計画の目標水準である479百万円を見込む。2026年秋にサービス開始予定の共通物流データ基盤事業は、2027年度から2029年度を投資フェーズと位置付け、2030年度の事業採算化を目指す計画。2027年度は△75百万円の営業利益予定し、結果として、2027年度の営業利益は2026年度と同水準の404百万円を見込む。

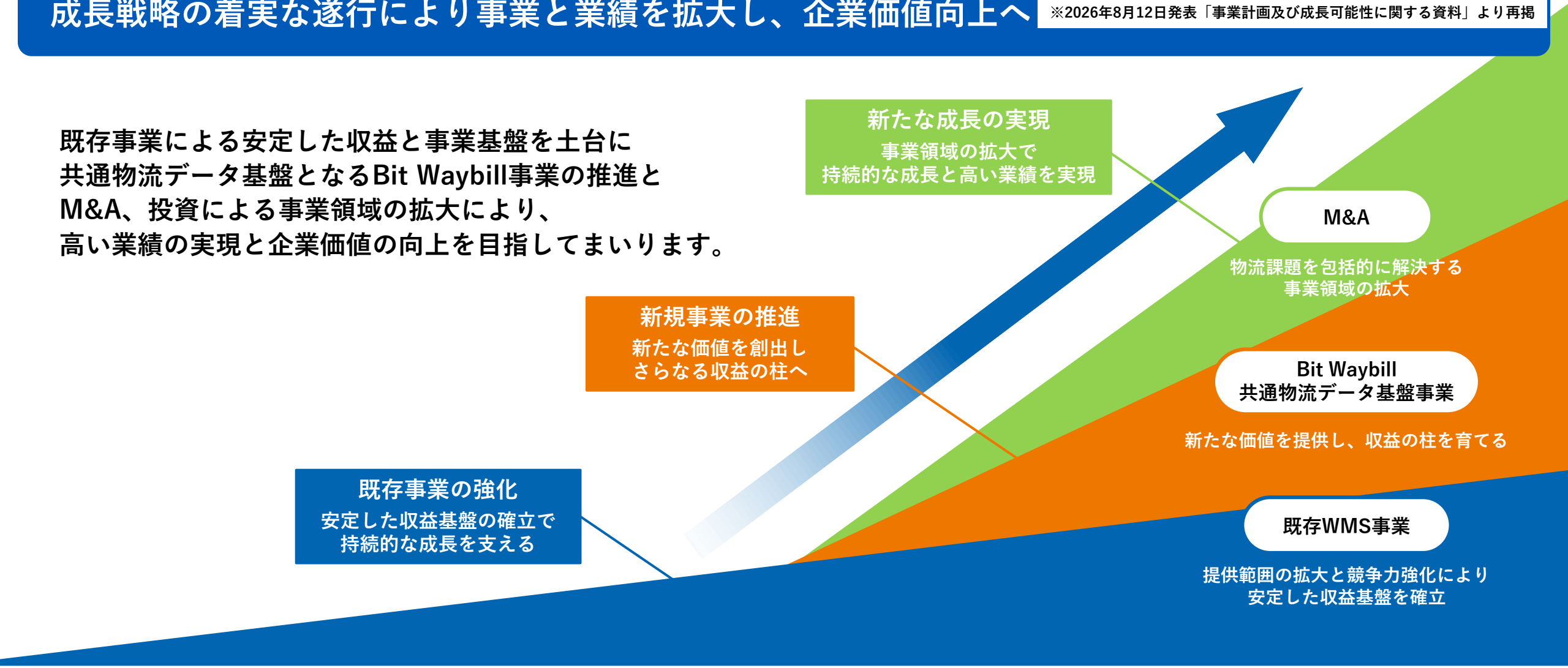


Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

成長戦略の着実な遂行により事業と業績を拡大し、企業価値向上へ

※2026年8月12日発表「事業計画及び成長可能性に関する資料」より再掲

既存事業による安定した収益と事業基盤を土台に
共通物流データ基盤となるBit Waybill事業の推進と
M&A、投資による事業領域の拡大により、
高い業績の実現と企業価値の向上を目指してまいります。



現在	FY2027	中期	長期
WMSを軸に事業基盤を構築	新規事業、M&Aにより 事業領域を拡大	事業成長による 収益の拡大	持続的な成長により 高い業績の実現へ

ロジザード株式会社
証券コード：4391

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

05.APPENDIX

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

損益の状況

勘定科目	26.6期第1四半期		27.6期第1四半期		増減※	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	561	100.0%	657	100.0%	95	17.1%
クラウドサービス	453	80.8%	516	78.7%	63	13.9%
開発・導入サービス	85	15.3%	100	15.3%	14	17.2%
機器販売サービス	22	3.9%	39	6.1%	17	81.2%
売上原価	252	44.9%	297	45.3%	45	18.0%
売上総利益	309	55.1%	359	54.7%	50	16.3%
販売費及び一般管理費	237	42.3%	278	42.3%	40	17.1%
営業利益	71	12.8%	81	12.4%	9	13.6%
経常利益	73	13.0%	83	12.7%	10	14.0%
純利益※	51	9.2%	59	9.0%	7	13.9%

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

※2027年６月期第１四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2026年６月期との比較は参考値となります。また、「純利益」は2026年6月Q1：「四半期純利益」、2027年6月期Q1：「親会社株主に帰属する四半期純利益」となります。

通期予算に対する進捗率

勘定科目	27.6期第1四半期実績		期初通期予算※		予算進捗率
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	657	100.0%	2,808	100.0%	23.4%
クラウドサービス	516	78.7%	2,138	76.1%	24.2%
開発・導入サービス	100	15.3%	598	21.3%	16.8%
機器販売サービス	39	6.1%	72	2.6%	55.4%
売上原価	297	45.3%	1,292	46.0%	23.0%
売上総利益	359	54.7%	1,516	54.0%	23.7%
販売費及び一般管理費	278	42.3%	1,111	39.6%	25.0%
営業利益	81	12.4%	404	14.4%	20.2%
経常利益	83	12.7%	405	14.4%	20.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	59	9.0%	288	10.3%	20.5%

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

※被取得企業のみなし取得日を2026年９月30日としているため、貸借対照表のみを連結しており、当第１四半期連結損益計算書については被取得企業の業績を含んでおりません。

貸借対照表の状況

勘定科目	26.6期末	27.6期 Q1末	増減額※
流動資産	2,148	1,772	-375
固定資産	781	1,015	234
有形固定資産	74	74	-0
無形固定資産	607	841	233
投資その他資産	99	99	0
資産合計	2,929	2,788	-141

勘定科目	26.6期末	27.6期 Q1末	増減額※
流動負債	473	336	-137
固定負債	2	1	-1
負債合計	476	337	-138
純資産	2,453	2,450	-2
株主資本	2,453	2,450	-2
その他の包括利益累計額	0	0	0
負債純資産合計	2,929	2,788	-141

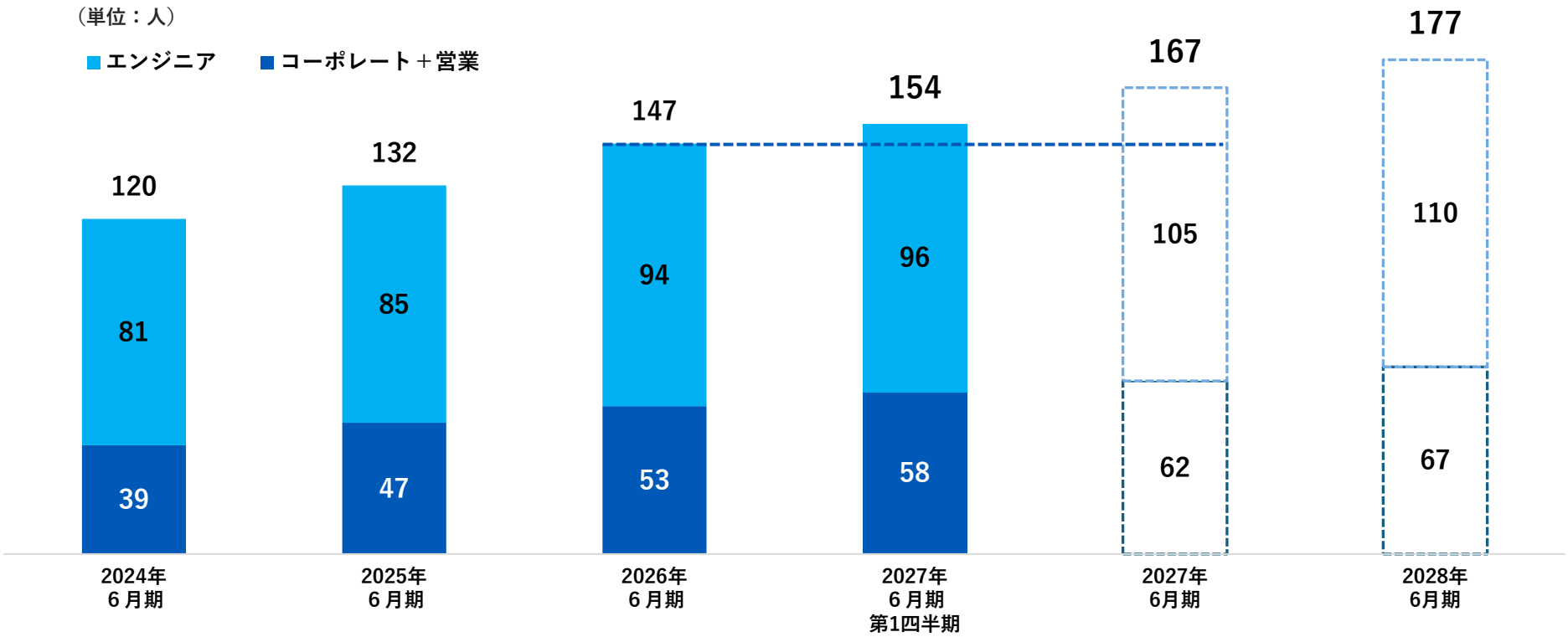
※2027年６月期第１四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2026年６月期との比較は参考値となります。

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

中期経営計画における人員計画の進捗状況

人員計画進捗状況

人員採用における予算進捗率は35%
第1四半期は7名増員となり、計画通り順調に推移

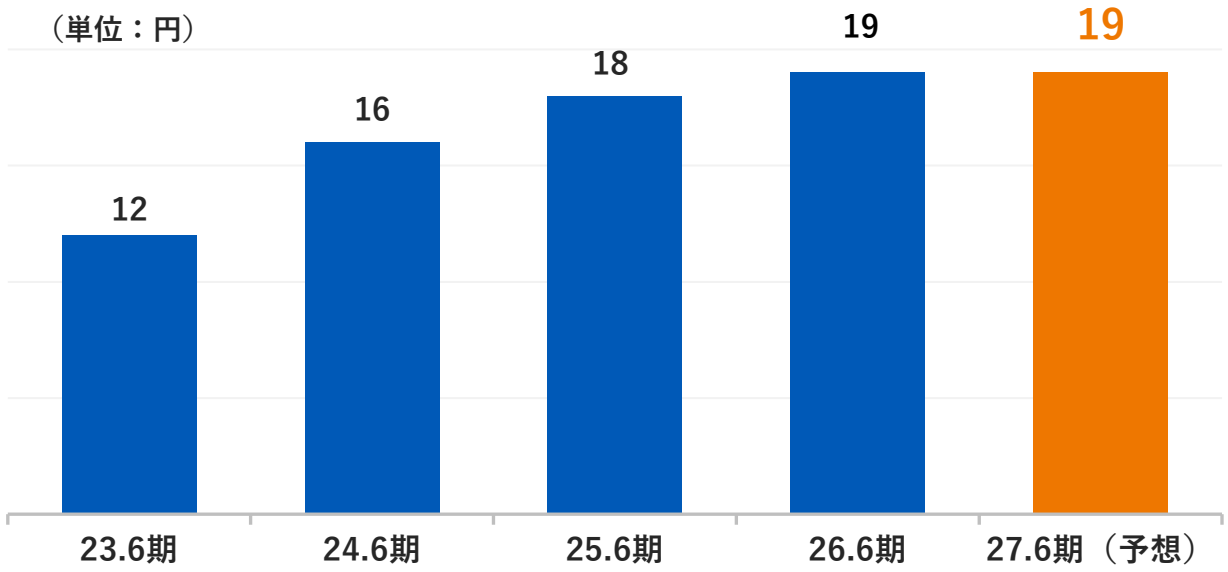


Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

27年6月期における期末配当について

今後も継続して期末配当を実施予定、配当性向は20%を目安として1株当たり19円を予想

27年6月期末の予想配当金
1株あたり 19円00銭



Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

中期経営計画（26～28期）および27年6月期事業計画掲載資料



2026年8月15日発表
「26年6月～28年6月期における中期経営計画」について

URL https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS09107/196177af/bdc7/44b1/8615/ba61f9e01608/140120250815542813.pdf



27年6月期における
「事業計画および成長可能性に関する資料」について

URL https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS09107/3685f270/0eca/410f/bf0a/32114ea94b12/140120260810517220.pdf

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

共創型物流データプラットフォーム

Bit Waybill®

共通デジタル荷札
ビットウェイビル

荷主と輸送がもっと歩み寄って
貨物がつながる
ドライバーがつながる
運送会社がつながる

物流を変える、全員で変わる。

簡易版サービス概要資料

10月21日、サービス提供開始







ロジザード株式会社

物流業界の背景と課題

01. 背景

・ドライバー不足・2024年問題の継続
・物流効率化法への対応が本格化
・継続荷待ち時間・荷役時間の削減が必須

→ 共同輸送・中継輸送の推進が求められている

02. 現状の課題

・荷主ごとに伝票や管理番号がバラバラ
・企業をまたいで貨物情報がつながらない
・運送事業者変更時に情報引継ぎが困難
・共同輸送の障壁が高い

→ 共同輸送・中継輸送の実現には、企業を超えて貨物情報を共有できる仕組みが必要

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

共通デジタル荷札「Bit Waybill（ビットウェイビル）」とは

荷札情報をブロックチェーンでトークン化
業界を横断する物流データプラットフォーム

Bit Waybillの役割

貨物ごとに共通管理番号である
BWB番号を付与し、

- 荷札情報
- 貨物情報
- 輸送履歴ステータス情報

を一元管理する物流データ基盤

Bit Waybillが提供する機能

1. 荷札台帳データベース
2. 貨物追跡データベース
3. 輸送履歴保証データベース

というシンプルな構成で
物流データを一元化

Bit Waybillの技術特徴

- ブロックチェーン技術を活用
- 全国共通IDによる貨物管理
- APIによるシステム連携
- 権限管理による安全な情報共有

により、テクノロジーで
参加者間の信頼関係が築ける

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

「Bit Waybill」の仕組み

貨物ごとにIDを付与し、輸送履歴をブロックチェーン上に記録。改ざん困難な証跡管理により、高い信頼性を実現。データを共通基盤に蓄積し、APIで各社システムと連携。

01
貨物にBWB番号を付与

パレット単位の貨物に共通ID（BWB番号）を付与します。



BWB番号
BWB1234567

02
BWB番号を紐づけて輸送履歴を記録

出荷・受け渡し・中継・納品などの履歴情報を時系列で記録します。

- 出荷
  2026/10/21 09:00
  出荷元：A倉庫
- 中継（積替え）
  2026/10/21 14:30
  中継拠点：Bターミナル
- 受け渡し
  2026/10/22 08:45
  運送会社：C社
- 納品完了
  2026/10/22 13:25
  納品先：D倉庫

03
ブロックチェーンで履歴の信頼性を担保

記録した輸送履歴の証跡をブロックチェーンで管理し、改ざん困難な形で信頼性を担保します。



改ざん困難な形で
履歴の証跡を保存

04
共通の物流データ基盤に蓄積・連携

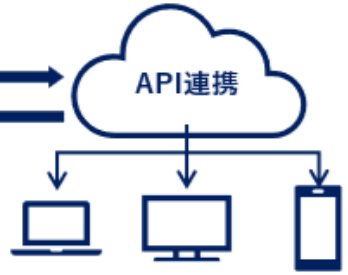
ブロックチェーンで担保された輸送履歴を、共通の物流データ基盤に蓄積します。



- 信頼性の高いデータを蓄積
- 企業やシステムをまたいで連携
- 必要な情報を権限で管理

05
API連携により各社のシステム・アプリで活用

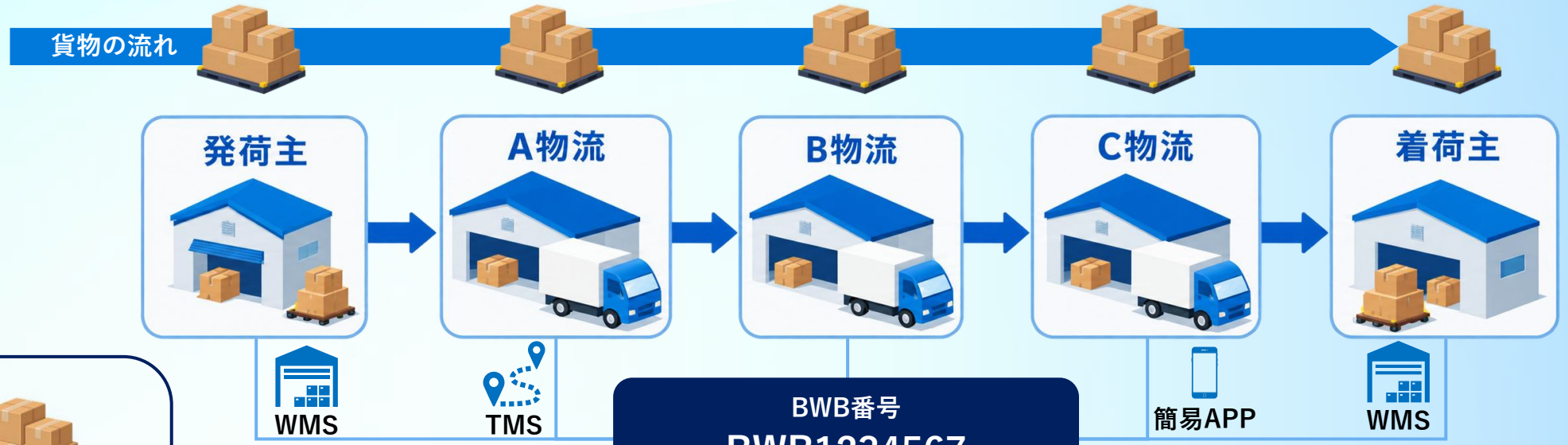
物流データ基盤の情報をAPIで連携し、各社のシステムやアプリで必要な情報を取得・活用します。



各社のシステム・アプリ
※WMS、TMS、基幹システム、Webアプリなど

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

BWB番号を軸に企業をまたいで輸送履歴がつながる





BWB番号
BWB1234567

貨物に付与された
BWB番号が全ての
履歴のキーに

ブロックチェーン上に輸送履歴を記録（改ざん困難・共有）

履歴 ①

A → B

運送会社	A物流
発地	A
着地	B
日時	2026/10/21 10:15
担当者	XXXX

履歴 ②

B → C

運送会社	B物流
発地	B
着地	C
日時	2026/10/21 14:15
担当者	YYYY

履歴 ③

C → D

運送会社	C物流
発地	C
着地	D
日時	2026/10/22 08:15
担当者	ZZZZ

この仕組みのポイント

- 1つの番号で発荷主から着荷主までの全ての履歴を追跡可能
- ブロックチェーンで改ざん防止、信頼できる履歴
- 関係者全員でリアルタイムに共有

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

Bit Waybill 導入効果と未来像

共同輸送

- 積載率向上
- 1台あたり売上の増加

中継（リレー）輸送

- 運送会社間で不断の引継ぎ
- ドライバーの長距離運行負荷や、労働時間の軽減

フィジカルインターネット

- 貨物が企業を超えて流通
- 物流リソースと、輸送ネットワークの共有



Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

Bit Waybill 導入効果と未来像

荷物情報の一元管理

メーカー直送品と自社倉庫出荷品に共通IDであるBWB番号を付与することで、
配送会社や輸送経路の違いを問わず、荷物情報の一元的な管理を支援します。

納品情報連携

荷主企業・運送会社・倉庫事業者間で納品情報を共有し、業務効率化と
情報連携の高度化を支援します。

物流効率化法対応に向けた現状把握の効率化

Bit Waybillで輸送情報を一元管理し、物流改善の課題分析や
中長期計画策定に必要なデータを把握できます。

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

当社のIR活動について

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

IRの取り組み

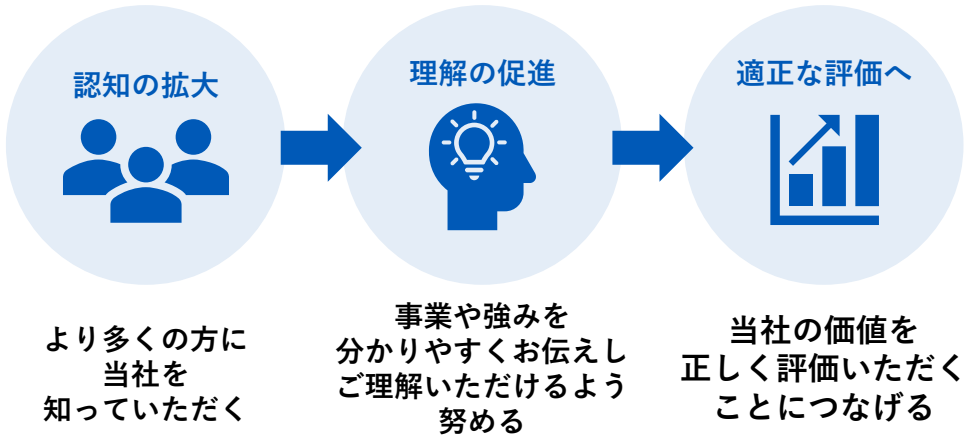
個人投資家をはじめとするステークホルダーの皆様に、当社の価値を正しく理解いただき、企業価値の適正評価につなげるために

認知の壁を乗り越え、当社の価値を正しくお伝えするため、情報発信を戦略的に設計し、IR活動を推進しています。

主な取り組みと、それぞれの役割

四半期ごとの決算説明会の開催	業績や戦略の進捗をタイムリーに共有し、継続的な理解の土台を構築
個人投資家説明会への参加	直接対話を通じて、事業や成長性への理解を深める機会を創出
IRサイトでの情報発信	情報を整理し、必要な情報へ迅速にアクセスできる環境を整備
SNSでの発信	日常的な接点を創出し、認知拡大を推進
動画での情報発信	ビジネスモデルなど、分かりにくい内容を動画の活用でわかりやすく紹介
メディアを通した認知活動	第三者視点を通じて信頼性を高め、新たな投資家層へのリーチを拡大

IR活動の目的と目指す姿



これらの施策を通じて接点を広げ、当社の価値をより分かりやすくお伝えできるよう努めることで、企業価値の適正評価の実現を目指しています。

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

当社の公式情報一覧　情報は随時更新しておりますのでぜひご覧ください。

当社の事業、IR情報、最新ニュースなど、各種情報は以下の公式サイト・SNSで発信しています。

01

コーポレートサイト

企業情報、事業内容、ニュース、IR、採用情報など、当社に関する幅広い情報を掲載しております。

URL https://www.logizard.co.jp/

02

IRサイト

当社の経営方針や財務情報、IR資料など、株主・投資家の皆さまに向けた情報を掲載しております。

URL https://www.logizard.co.jp/ir/

03

事業紹介

当社の事業や提供するシステムおよびサービスについてご紹介しております。

URL https://www.logizard.co.jp/service/

04

YouTube

これまでに開催した決算説明会や個人投資家説明会等の動画を配信しております。

URL https://www.youtube.com/@IR-rb1mq

05

X（旧Twitter）

最新ニュースや事業の取り組みなど、投資家の皆さまに向けた情報を随時お届けしております。

URL https://x.com/logizard_ir

06

note

決算資料ではお伝えしきれない、当社のカルチャーや事業についてコラム形式でお届けしております。

URL https://note.com/logizard_4391

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.

本資料の取り扱いについて

本資料には当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。

別段の記載が無い限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

ロジザード株式会社
（証券コード4391）

東京都中央区日本橋人形町三丁目3番6号
URL：https://www.logizard.co.jp
Tel：03-5643-6228

Logizard Co., Ltd. All Rights Reserved.